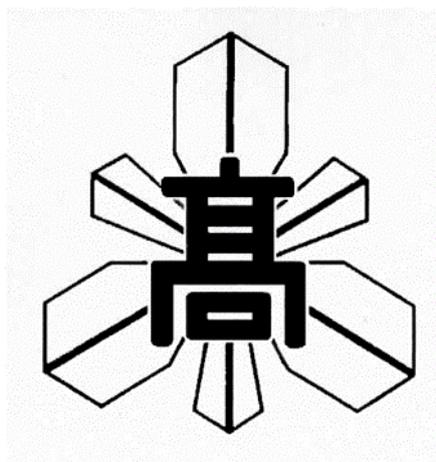


岩手県立水沢高等学校

部活動安全対策マニュアル

令和7年度版



水沢高等学校部活動方針

本校の教育目標「真善美を常に求め、自主自律の精神と創造建設の気魄に満ち、友愛と信義を重んずる心身ともに豊かでたくましい人間の形成を図る」の実現を目指し、生徒の自主的・自発的な活動により各部の目標達成を図ることで、真の意味で文武両道を実践し、品位ある人間を育成する。

令和7年6月改訂

1 部活動における事故防止に関する基本的な考え方

本校の部活動が安全で有意義なものとなるよう、下記の3点を基本的な考えとする。

(1) 全教職員で本校の部活動の方針を理解し、方針に沿った部活動を行う。

教育活動における部活動の意義をしっかりと理解し、勝利至上主義になることにより過度な練習や遠征等を行うことのないようにする。

(2) 安全対策の必要性を常に意識し、環境整備と点検を日常的に行う。

日頃から安全点検と環境整備に時間を掛け、安全に部活動ができる環境づくりを優先事項とする。

(3) 各部における活動の目的と目標を明確化させる。

日々の部活動の目的等を生徒と共に共有し、部活動が生徒の自主的な活動になるよう留意する。

2 事故防止に関する具体的方針

(1) リスクアセスメントと計画の策定

部活動ごとに、活動内容に伴うリスクを評価し、いかにしてリスクを回避できるのか安全計画を策定する。計画は具体的な事象を想定すること。

(2) 施設と設備の点検と管理

定期点検と日々の点検を確実にを行い、部活動に定めるチェック項目について点検する。破損や不具合がないか確認し必要に応じて修理や交換を行うこととする。点検の結果、破損や不具合が確認された場合は、修理等を行い安全性が確認できるまで、部活動は中止することを原則とする。

(3) 安全教育と訓練

生徒に対して、用具の安全な使用法や環境整備の仕方についてガイダンスを行い、正しく用具や環境設備が使用できるように安全教育を行う。部活動ごとに用具の使用マニュアルを作成する。

(4) 応急処置と救急対応の準備

救急処置用の医療キットを準備し、常に使えるようにしておく。また、AEDの設置場所を確認し、生徒全員がAEDを使用できるように指導しておく。

救急車の要請には養護教諭や管理職の許可が不要であることを理解し、速やかに救急車を要請し、救命措置を優先した後、管理職に報告する。

軽傷であっても保護者に対し説明責任を果たせるよう記録をしておき、担任と管理職に報告をする。

(5) コミュニケーションの促進

指導者と部員とが安全に関する情報や問題点を共有できるように普段からコミュニケーションをとるように心がけることにより、見えにくいリスクを回避できると思われる。指導者は実際に用具を使用している生徒からの情報提供に注意を払う必要がある。

(6) 天候に関する注意（熱中症対策、雷）

岩手県学校熱中症対策ガイドラインによる暑さ指数(WBGT)に応じた注意事項を確認し、暑さ指数31℃以上の場合には運動を原則中止するなど、熱中症対策に各部とも取り組む。こまめな水分補給に配慮し、無理のない部活時間と活動内容となるようにする。

屋外での部活動では、部活顧問は落雷の危険性を認識し事前に天気予報を確認するとともに、天候の急変などの場合にはためらうことなく計画の変更・中止等の適切な措置を講ずることとする。(原則中止) 雷鳴はかすかでも危険信号であり、雷鳴が聞こえるときは、落雷を受ける危険性があるため、すぐに安全な場所(鉄筋コンクリートの建物、自動車、バス等の内部)に避難するよう指示する。

(7) 部活動顧問が活動場所にいない時(会議等による不在)

原則として、担当顧問がいない場合は部活動を行うことができないが、会議等で担当顧問が活動場所にいない場合の活動については、事前に顧問不在時における活動内容を決めておく。また、怪我人が出た場合の連絡を誰がどこに行うのか明確に決めておき全部員に周知しておく。

(8) 競技における適切な服装と用具の指導

怪我防止の観点から、各競技に適した服装となるよう指導する。用具に関しても各自の技量に合った用具を正しく使用できるよう指導する。

(9) 本マニュアルは毎年見直しを行い、実情に合ったものとなるようにする。

3 各部における安全対策のポイント

(1) 陸上競技

予想される危険	事故防止対策
<ul style="list-style-type: none">・使用するグラウンドの状態によるもの・用具の劣化や整備不良によるもの・他の部活動によるもの	<ul style="list-style-type: none">・グラウンドの整備状況に目を配り、不整地はならし、捻挫等を未然に防ぐ。・定期的な点検を行う。・周辺で活動している他の部活動を確認し、安全性を確保する。

(2) バスケットボール

予想される危険	事故防止対策
<ul style="list-style-type: none">・コート周辺の障害物の確認不足によるもの・ボード、リング等の破損によるもの・身体の接触によるもの	<ul style="list-style-type: none">・練習前の環境整備をする。不要物は片付ける。・定期的な点検を行う。・視野を広く持たせる。接触に負けない体づくりや安全な体の使い方を指導する。

(3) バレーボール

予想される危険	事故防止対策
<ul style="list-style-type: none">・床面の不良によるもの・コート設置時によるもの・練習時によるもの	<ul style="list-style-type: none">・事前に床面の確認を行い、不良箇所の修復を行う。・支柱やネットの設置は複数で行い、事故のないように細心の注意を払う。・ボールの行方に注意すること。

(4) 卓球

予想される危険	事故防止対策
<ul style="list-style-type: none">・卓球台の設置に関するもの・練習によるもの	<ul style="list-style-type: none">・卓球台を移動、設置、片付ける際には必ず必ず二人以上で行う。・卓球台の間隔をできるだけ広くとり、プレーヤー同士の距離を保つことにより、接触による怪我を防止する。・室内は、夏場はかなりの高温になるので、定期的に換気をする。こまめに水分補給を行うようアナウンスする。

(5) ハンドボール

予想される危険	事故防止対策
<ul style="list-style-type: none">・ゴールの設置に関するもの・他の部活動との体育館の共有について・練習によるもの	<ul style="list-style-type: none">・ゴールの取り扱いに気を付け、必ず3人以上で運ぶ。・防球ネットの使用・プレーヤー同士の危険な接触をさけるよう指導する。

(6) ソフトテニス

予想される危険	事故防止対策
<ul style="list-style-type: none">・コート of 整備不良によるもの・練習に関するもの	<ul style="list-style-type: none">・練習前のコート整備を入念に行う。・ラケットを振らせる際には、スウィングの範囲内に人が近づかないように気をつけさせる。狭いところでは振らせない。・ボール拾いなどは、ラリー中には原則行わせない。打球の飛ぶ方向には十分注意させ、人のいる方向に飛んだ際には、大きな声で知らせる。

(7) サッカー

予想される危険	事故防止対策
<ul style="list-style-type: none">・フィールド内の整備不良によるもの・ゴールの不良と設置不備によるもの・身体接触によるもの	<ul style="list-style-type: none">・整地し、できるだけ平らな状態にする。大きな石やガラスの破片等の危険物を除去する。場合によっては水を撒くなどして、地面を安定させる。・ゴールの破損箇所や溶接部の強度を確認する。移動式ゴールは倒れないよう杭で固定する。クロスバーにぶら下がる等の行為をさせない。ゴールネットが正しく設置されているか確認する。・転倒した際の手の付き方や身のこなし方など習得させるとともに、怪我防止のため、手首、肘、肩の柔軟性を高めておく。

(8) 剣道

予想される危険	事故防止対策
<ul style="list-style-type: none">・ 剣道場、体育館等の床面の不具合や点検不備によるもの・ 竹刀の破損・不備によるもの	<ul style="list-style-type: none">・ 毎日の練習前に、必ず施設の安全点検を行い、不具合があれば安全な状態にしてから練習を開始する。・ 練習前に必ず竹刀の点検を行う。特に先革、弦、中結、ささくれ等面金の物見部分に変形し幅が広がっているようなものは絶対に使用しない。

(9) 弓道

予想される危険	事故防止対策
<ul style="list-style-type: none">・ 設備によるもの・ 用具の使用に関するもの	<ul style="list-style-type: none">・ 防矢ネットを設置し、かつ、隙間が無いようにする。・ 安土に十分な厚みが維持できるよう砂等を補充し、凍結している場合は、スコップ等でほぐす。・ 固くなった巻藁を使用禁止とする。・ 競技前に弓具点検を実施し、異常があった場合は、改善させる。

(10) 山岳

予想される危険	事故防止対策
<ul style="list-style-type: none">・ 装備の不備によるもの・ 登山計画によるもの	<ul style="list-style-type: none">・ 基本的な用具(登山靴、雨具)は、使用後にしっかりメンテナンスを行う。 テント関係、コンロ関係などの用具の正しい使い方を身につけておく。 用具の正しい保管方法を理解する。経年変化で使用できなくなる用具は定期的に購入し、交換する。 行動中、不都合が発生する場合に備えて、予備を携行し、修理用具も持参する。・ 個人の体力等に配慮した無理のない登山計画を作成する。

(11) 野球

予想される危険	事故防止対策
<ul style="list-style-type: none">・グラウンド整備によるもの・練習によるもの	<ul style="list-style-type: none">・丁寧なグラウンド整備により、打球のイレギュラーバウンド等を防ぐ。・硬式ボールの危険性を十分に理解し練習に取り組む。・防球ネットの設置場所について確認を行い安全性が確保できる状態で練習を行う。・各自がボールの行方をしっかりと確認し、見ていない方向からの送球や打球がないようにする。・マシンの始動時の調整は必ず複数の部員で行い、打ち出される方向に部員がいないか十分に確認すること。マシンの調整時に捕手が受ける場合は、必ずマスクなどすべての防具を装着してから行うこと。

(12) 水泳

予想される危険	事故防止対策
<ul style="list-style-type: none">・水中、プールサイドでの接触によるもの・体調不良によるもの	<ul style="list-style-type: none">・外部コーチの指示に従い、各自の体調管理に気を付ける。 <p>(本校のプールは使用しない)</p>

(13) ウエイトリフティング

予想される危険	事故防止対策
<ul style="list-style-type: none">・施設設備・用具によるもの 練習場所の未整理による事故 安全器具（カラー）の未装着による挙上中のプレートの落下によるもの・用具の破損や器具の整備不良によるもの・活動内容によるもの 周囲の安全確認を怠ったことによるもの 能力以上の重量への挑戦や誤ったフォームでの挙上によるもの ウォーミングアップ不足によるもの	<ul style="list-style-type: none">・整理、清掃の徹底 挙上前の器具と周囲の安全確認・無理のない重量設定 正しいフォームの習得、技術指導の徹底 ウォーミングアップの徹底

(14) バドミントン

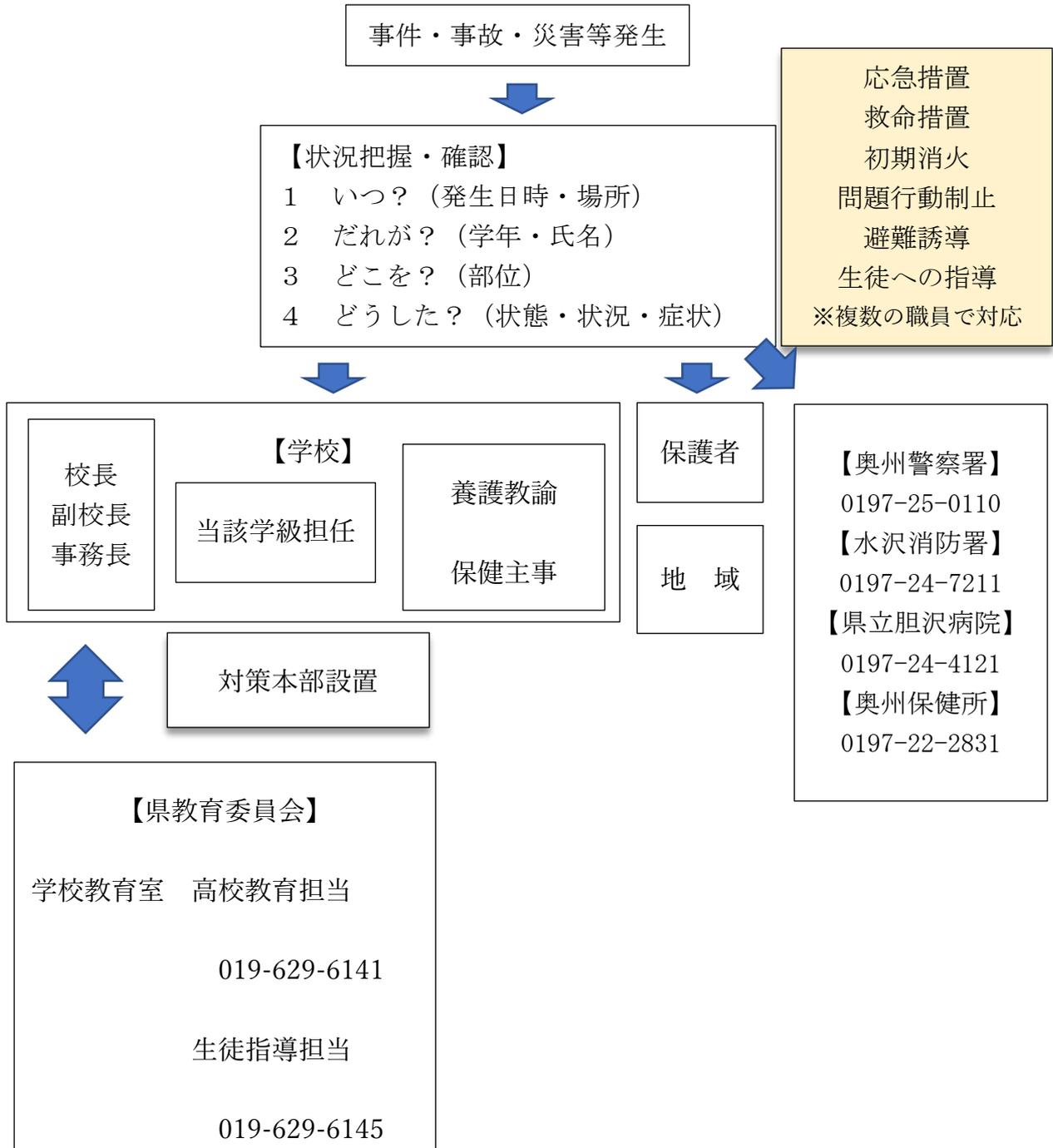
予想される危険	事故防止対策
<ul style="list-style-type: none">・施設、設備に関するもの・練習によるもの シャトルやラケットが目当たる等	<ul style="list-style-type: none">・練習開始前に点検を行う。 コートへの準備は複数で行う。こまめにモップがけを行う。・スマッシュなどの早い球を打つときは周囲の安全に注意する。 声を掛け合いながら、危険を回避する。 シャトルを拾う時は、プレー中の選手に近寄らない。

4 令和6年度 ヒヤリハット事例

場所	内容	事後の処置等
校庭	野球部活動中、バッティング練習のマシーンにボールを入れていた時、打ったボールがネットに跳ね返り歯にぶつかった。	直ぐに受診
校庭	野球部での練習試合中に(キャッチャーで)キャッチャーフライを上を見ながら全力で走って追いかけていたところ、フェンスネットが張ってある柱に激突し、左膝を柱に強打した。	直ぐに受診
ウエイト場	部活動の時間にウエイトリフティングをしていて、持ち上げたウエイトを下ろす際にバランスを崩して離れたウエイトがあたり、肩から肩甲骨付近を打撲した。	自宅に帰ってから患部を冷やしたが痛みと腫れが引かず翌日病院を受診
ウエイト場	ウエイトトレーニング中に先輩が使用した器具が後頭部にあたり一瞬意識を失うほどの衝撃を受けた。	すぐに患部を冷やし安静にした。軽い吐き気があったため病院を受診
校庭	体育祭の応援中に具合が悪くなり嘔吐が止まらなかった。	すぐに水分を取り保健室で休んだが症状が止まらず、担任から連絡が有り受診を勧めた。

5 緊急対応体制と災害発生時連絡機関(危機管理マニュアルより)

(1) 緊急対応体制



(2) 災害発生時連絡機関

<医療機関等連絡 救急車要請 119>

【総合病院】

県立胆沢病院	0197-24-4121	水沢字龍ヶ馬場 61
奥州病院	0197-25-5111	水沢東大通り 1-5-30
総合水沢病院	0197-25-3833	水沢大手町 3-1
国保まごころ病院	0197-46-2121	胆沢南都田字大持 40

【学校医】

内科	県立胆沢病院	0197-24-4121	水沢字龍ヶ馬場 61
眼科	鈴木眼科吉小路	0197-22-2522	水沢字吉小路 16
耳鼻科	樋口耳鼻咽喉科医院	0197-23-2034	水沢字不断町 11
歯科	ちば歯科医院	0197-51-1300	水沢字桜屋敷 420
薬剤師	及川薬局けいとく店	0197-47-4471	水沢佐倉河慶徳 26-2

【その他】

【内】石川内科循環器クリニック (0197-22-5000)	【内】さとう内科クリニック (0197-51-1571)
【内】おおとし消化器整形外科(0197-24-5131)	【内】とみた脳神経外科(0197-22-3000)
【内】本田胃腸科内科外科 (0197-23-7581)	【整】佐藤整形外科医院(0197-25-4101)
【整】武田整形外科医院 (0197-24-7271)	【婦】平間産婦人科 (0197-24-6601)
【婦】見分森丸田クリニック (0197-24-6546)	【心】さくらクリニック (0197-51-7600)

<警察・消防等への連絡 警察への急報 110>

奥州警察署	0197-25-0110	水沢真城字北塩加羅 37-3
水沢消防署	0197-24-7211	水沢大鐘町 2-16
胆沢分署	0197-46-2441	胆沢小山字小十文字 39-2
奥州保健所 (保健課)	0197-22-2831	水沢大手町 5-5
(企画管理課)	0197-22-2861	

<119番通報に必要な情報は>

火事か救急か?	(例) 救急です。
場所の確認	奥州市水沢字龍ヶ馬場5-1 水沢高校です。
負傷者・病人の 状況、人数、 事故等の様子	○年齢・性別・人数 ○呼吸停止・心臓停止 ○心肺蘇生の有無 ○骨折・出欠の有無 ○意識の有無 ○呼吸・けいれんの状況 ○頭部打撲の有無 ○やけどの有無 など